

阿波市 議会だより

第62号

年4回発行 [令和4年3月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <https://www.city.awa.lg.jp/gikai/>



令和3年第4回

阿波市議会定例会の概要

第4回定例会は、11月30日から12月22日までの23日間の会期で開かれました。

開会日には藤井市長から、令和3年及び令和4年成人式、新型コロナウイルス感染症、東京2020オリンピック・パラリンピックへの食料提供、阿波市商工会の新商工会館竣工式、包括連携協定の調印、地域防災体制の充実、強化、市内美化ボランティア清掃活動、LED防犯街路灯寄贈と、国・県への要望活動について、11月30日から12月22日までの23日間の会期で開かれました。

また、令和3年度阿波市一般会計、特別会計、及び水道事業会計補正予算案の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問は12月9日、10日、13日の3日間にわたり行われ、13人が市政全般について理事者の考えを問う、産業振興・教育・建設・環境衛生・総務・地方創生・感染症対策・財政・防災・福祉・情報関係等について議論しました。

15日に総務、16日に産業建設、17日に文教衛生の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決しました。

追加議案として、予算案件1件、契約変更案件1件、議員発議の意見書1件が提出され、いずれも可決しました。

に着手する予定と聞いている。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

計画・設計要領を基に、固形燃料の性質やカロリーについての調査を行っている。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

約8,000万円の工事予算を計上している。宅地分譲され市への移管がされていない道路については、道路等整備要望書をいただいた上で隣接する方全員同意をいただき、舗装修繕の方法等市と関係者間で協議していきたい。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

市内の荒廃農地や遊休農地はどのように変化しているのか。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

令和2年度の荒廃、遊休農地面積は90haであり平成28年度と比較して2ha増加している。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

全国の全銘柄1等30kgの平均価格は6,560円と昨年と比較し、13%の下落。本市の主要銘柄のコシヒカリが5,200円、15%の下落、アキサカリが4,580円、22%の下落。本市の稲作農家にとって厳しい状況である。対策として高収益作物である野菜等への作物転換や飼料用など非主食用米の生産拡大の推進とともに、米の収入保険制度の加入促進や相談体制の充実を図る。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

代表質問

榎原 伸 議員 (志政クラブ)



問 阿波市農業における担い手対策の現状と今後の計画について。

答 新規就農者の育成をはじめ、農業関連企業の誘致、地域おこし協力隊の受け入れなど多様な担い手の育成、確保に取り組んでいる。現在は農業次世代人材投資事業において就農志向から定着に至るまで一貫して新規就農者を支える取組を推進している。

出口 治男 議員 (阿波みらい)



問 阿波病院前の日開谷川から上板町境までの堤防下段の併設道路設置、及び堤防の通行について。

答 一部は片側1車線での改良済み区間となっているが、幅員4m程度の未改良区間がほとんどである。このことから、県では平成26年に終点側760m区間の整備が行われ、利便性、安全性が大きく向上している。現在、県では志度山川線、船戸切幡上板線、宮川内牛島停車場線などのバイパス工事に取り組んでいただいている。それらの完成を見据え、今回提案の堤防併設道路をはじめ、市民生活にとって望ましい道路整備を精査し、新たな道路改良について、県に要望する。

問 熊谷川は漏水があり、破堤の危険もある。関係機関に熊谷川の改修を望むをお願いしたい。

答 現在県道鳴門池田線から下流約1000mまで工事が完了している。徳島県東部県土整備局に確認したところ、現在も改修工事を年次的に進めており、来年度以降に鳴門池田線南側の旧県道に架かる橋梁の工事に着手する予定と聞いている。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

一般質問

原田 定信 議員 (志政クラブ)



問 市道の舗装は年々傷みを増している。担当課のほうではこの問題について今後のどのように取り組んでいく予定か。

答 舗装修繕箇所については、現地調査を行い優先順位をつけて実施しており、本年度は、26件、

問 市内農用地の利用状況はどうなっているのか。

答 令和2年度の本市耕地面積は3,600haで合併時の平成17年度の3,930haから330ha、率にして8%減少し

問 市内各地で多発している野犬問題をどのように対処しているのか。

答 狂犬病予防法や徳島県条例に基づき、徳島県動物愛護管理センターと連携して対応している。

問 本市の米価下落の実態と、それに伴う市の対応について。

答 全国の全銘柄1等30kgの平均価格は6,560円と昨年と比較し、13%の下落。本市の主要銘柄のコシヒカリが5,200円、15%の下落、アキサカリが4,580円、22%の下落。本市の稲作農家にとって厳しい状況である。対策として高収益作物である野菜等への作物転換や飼料用など非主食用米の生産拡大の推進とともに、米の収入保険制度の加入促進や相談体制の充実を図る。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

中野 厚志 議員 (日本共産党)



問 各小中学校で学習指導要領の趣旨に沿った教育課程を編成・実施し、創意工夫を活かした特色ある教育活動や、習得した知識・技能を活用し、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成を図っている。

答 各小中学校で学習指導要領の趣旨に沿った教育課程を編成・実施し、創意工夫を活かした特色ある教育活動や、習得した知識・技能を活用し、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力の育成を図っている。

問 阿波市議会 代表議員 吉田 稔 (阿波みらい)

